

# 第 3 9 回水の週間実施報告書



平成 2 7 年 1 0 月

水の週間実行委員会

## 第 39 回水の週間中央行事は、後援機関及び協賛団体の

皆様のご支援・ご協力により開催されました。

### 主催機関

水循環政策本部  
水の週間実行委員会

国土交通省

東京都

### 後援機関

文部科学省  
経済産業省  
公益財団法人 日本科学技術振興財団

厚生労働省  
環境省  
日本放送協会

農林水産省  
独立行政法人 水資源機構  
一般社団法人 日本新聞協会

### 協賛団体（五十音順）

公益財団法人 河川財団  
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会  
一般財団法人 砂防フロンティア整備推進機構  
一般社団法人 セメント協会  
一般財団法人 ダム技術センター  
一般社団法人 日本埋立浚渫協会  
一般社団法人 日本橋梁建設協会  
一般社団法人 日本建設業連合会  
日本製紙連合会  
一般社団法人 日本ホテル協会  
公益財団法人 リバーフロント研究所

一般財団法人 河川情報センター  
一般財団法人 国土技術研究センター  
一般財団法人 水源地環境センター  
一般社団法人 全国建設業協会  
一般社団法人 ダム・堰施設技術協会  
一般社団法人 日本レストルーム工業会  
一般社団法人 日本経済団体連合会  
一般財団法人 日本建設情報総合センター  
一般社団法人 日本鉄鋼連盟  
一般社団法人 日本林業土木連合協会

一般社団法人 建設広報協会  
一般財団法人 砂防・地すべり技術センター  
石油連盟  
公益社団法人 全国建築物飲料水管理協会  
電気事業連合会  
一般社団法人 日本ガス協会  
一般社団法人 日本建設機械施工協会  
一般社団法人 日本水道工業団体連合会  
一般社団法人 日本電機工業会  
ビール酒造組合

### 水の週間実行委員会委員団体

全国水土里ネット  
一般財団法人 造水促進センター  
公益社団法人 日本下水道協会  
一般財団法人 日本ダム協会  
独立行政法人 水資源機構

公益社団法人 日本水道協会  
全国簡易水道協議会  
公益社団法人 土木学会  
公益社団法人 農業農村工学会  
特定非営利活動法人 日本水フォーラム

公益財団法人 利根川・荒川水源地域対策基金  
一般社団法人 日本治山治水協会  
公益社団法人 日本河川協会  
一般社団法人 日本工業用水協会

(目 次)

第 39 回「水の週間」の開催にあたり	3
第 39 回「水の週間」行事の概要	4
水の週間中央行事「水を考えるつどい」	5
水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	8
平成 27 年度水資源功績者表彰	14
「健全な水循環」に関するロゴマーク	16
第 37 回全日本中学生水の作文コンクール	17
一日事務所長体験	20
第 30 回水とのふれあいフォトコンテスト	22
上下流交流活動	25
水の週間一斉打ち水大作戦	29
国や地方公共団体等での実施状況	30
第 39 回水の週間新聞等報道状況	37
「水の週間」実施経過	39
水の週間実行委員会について	42

※表紙の写真は、第 30 回水とのふれあいフォトコンテストグランプリ「亀さん、来たよ」：奥村博己氏

「水の日」及び「水の週間」について

昭和 52 年 5 月 31 日

閣 議 了 解

水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について国民の関心を高め、理解を深めるため、「水の日」を設ける。

「水の日」は毎年 8 月 1 日とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として、この週間において、ポスターの掲示、講演会の開催等の行事を全国的に実施するものとする。

上記の行事は、地方公共団体その他関係団体の緊密な協力を得て行うものとする。

「水の日」及び「水の週間」制定の理由

わが国の水需要は、生活水準の向上、経済の進展等に伴って近年著しく増大してきたが、一方水資源の開発は次第に困難になっており、渇水時には水不足が生ずることが予想される状況となっている。

このような状況にかんがみ、毎年 8 月 1 日を「水の日」とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として、この週間において、水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性に対する関心を高め、理解を深めるための諸行事を行うことによってわが国の水問題の解決を図り、もって国民経済の成長と国民生活の向上に寄与することとしたい。

なお、諸行事を行うためには、年間を通じて水の使用量が多く、水について関心が高まっている 8 月の月上旬が適当であるので、その初日である 8 月 1 日を「水の日」とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」とするものである。

水循環基本法（平成 26 年法律第 16 号）

第十条 国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深めるようにするため、水の日を設ける。

2 水の日は、八月一日とする。

3 国及び地方公共団体は、水の日趣旨にふさわしい事業を実施するように努めなければならない。

平成 26 年 7 月 1 日に水循環基本法が施行され、8 月 1 日は、国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解や関心を深める日として、法律で定められた「水の日」となりました。

## 第 39 回「水の週間」の開催にあたり



水の週間実行委員会 虫明功臣 会長

本年も「水の日」及び「水の週間」を迎え、本日ここに「水を考えるつどい」を開催するにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。まず初めに、第 39 回の水の日・水の週間行事の開催にあたり、ここにご列席の皆様のご理解とご協力を賜りましたことを、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

昭和 52 年に「水の日」「水の週間」の取り組みが始まって約 40 年近くとなります。その間我が国ではソフト・ハードの両面からなる様々な対策を講じた結果、水問題について相当程度の改善を進めることができました。しかしながら、ここ数年を振り返りましても毎年のように水災害が生じている状況にあり、例えば先月の台風 11 号に伴って全国規模で生じた災害などは私たちの記憶に新しいところです。昨年 11 月に公表された「気候変動に関する政府間パネル (IPCC)」の第 5 次報告書でも指摘されているように、気候変動等による水害や渇水など水災害リスクの増大も今後予測されるどころ、水に関する防災や減災、持続可能な水利用の確保といった、安全・安心のための水に対する取組を実施することはますます重要になると認識しております。

他方、この長年にわたる「水の日」「水の週間」に関する取り組みの成果も踏まえ、昨年超党派の議員立法として水循環基本法が成立し、健全な水循環系の確保の重要性が法律という形で認知されるとともに、8 月 1 日の「水の日」も法律に定められました。さらに、去る 7 月 10 日には水循環基本計画が閣議決定され、水循環に関する施策を総合的に推進する具体的枠組みも出来つつあります。

このような状況を踏まえ、本年の「水の日」「水の週間」においては、健全な水循環の重要性、水資源の有限性、水資源開発・管理の重要性、水の恵みと脅威について、国民の皆様幅広く理解と関心を深めていただき、今後水に関する防災や減災、持続可能な水利用の確保、さらには世界の水問題の改善、水インフラ整備の国際的展開、並びに我が国の今後の技術開発等といった取組にもつなげていけるよう、水循環政策本部、関係府省や都道府県等と連携し、全国で様々な取り組みを積極的に展開して参りますので、よろしく願いいたします。

最後となりますが、水の日・水の週間行事に対する皆様の今後とも変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。

平成27年8月1日

水の週間実行委員会会長 虫明 功臣

## 第 39 回「水の週間」行事の概要

行 事	実 施 内 容	主 催 者 等
水の週間中央行事	<p>1. 水を考えるつどい 日時:平成27年8月1日(土) 14:00～16:00 場所:国連大学3F ウ・タント国際会議場 内容: ①主催者挨拶 ②「健全な水循環」に関するロゴマーク発表 ③第37回全日本中学生水の作文コンクール表彰式 ④上記作文コンクール最優秀賞受賞者による作文朗読 ⑤水に関するトークショー(パネリスト:生島ヒロシ、マツハ文朱、柴田美奈(ミス日本「水の天使」))</p> <p>2. 水のワークショップ・展示会 日時:平成27年8月12日(水)～14日(金) 10:00～17:00 場所:東京国際フォーラム(ガラス棟G701会議室) 内容:「水のハッピーデー ～水について学ぼう!～」をテーマに、小学生の親子を対象として、水にまつわる様々なワークショップやパネル展示を実施。</p>	<p>主催:水循環政策本部 国土交通省 東京都 実行委員会(注)</p> <p>後援:文部科学省、厚生労働省 農林水産省、経済産業省 環境省、(独)水資源機構 (公財)日本科学技術振興財団、日本放送協会、 (一社)日本新聞協会</p>
水資源功績者表彰	水資源行政の推進に関し、特に顕著な功績のあった個人並びに団体に対して、国土交通大臣表彰を授与。	主催:国土交通省
「健全な水循環」に関するロゴマークの募集	健全な水循環についての国民運動の象徴として国民に親しまれるロゴマークの募集及び審査。	主催:水循環政策本部事務局、 実行委員会
第37回全日本中学生水の作文コンクール	「水について考える」をテーマとして、中学生を対象に水の作文コンクールを実施。 都道府県の各地方審査等を経た作品を中央審査会で審査し、優秀作品に対して最優秀賞(内閣総理大臣賞)等を授与。	主催:水循環政策本部、国土交通省、都道府県 後援:文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、全日本中学校長会、(独)水資源機構、実行委員会
一日事務所長体験	全日本中学生水の作文コンクール優秀賞以上の受賞者の内、希望する者について在住地近隣の関係機関の事務所等において一日事務所長体験を実施。	
第30回水とのふれあいフォトコンテスト	健全な水循環の重要性や水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発の重要性について広く理解と関心を深めることに資する写真作品(例:「生命を支え、育む水」、「ダムや水路、水道など水をつくり、供給するもの」、「くらしの中の水」、「歴史とともにある水の風景」)を募集し、フォトコンテストを実施。優秀作品に対して、国土交通大臣賞等を授与。	主催:実行委員会 後援:国土交通省、東京都 (独)水資源機構
上下流交流活動	水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性についての啓発や、ダム水源地域の振興に資する上下流住民の連携に関する活動を行う団体等に対し、助成を実施。	主催:上下流住民の交流を促進する活動を行う市民団体、その他の団体
水の週間一斉打ち水大作戦	参加者に涼しさ(効果)を体感してもらうことで、水の有効利用、水について考える機会となるよう、雨水や風呂の残り湯などを使って打ち水を実施。	主催:地方自治体等、趣旨に賛同した団体、個人
施設見学会	ダムや浄水場などの水資源開発施設の見学会を各都道府県並びに(独)水資源機構等において実施。	主催:都道府県、(独)水資源機構ほか
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国各地で①講演会、②展示会など多彩な催しを実施</li> <li>・ポスターの配布・掲示</li> </ul>	

(注)「実行委員会」とは、「水の日」・「水の週間」の趣旨に賛同し、政府による「水の週間」の各種の啓発活動と一体となった諸行事を積極的に実施することを目的として、水に関係の深い団体により設立された「水の週間実行委員会」を指すものです。

## 水の週間中央行事「水を考えるつどい」



平成 27 年 8 月 1 日（土）国連大学ウ・タント国際会議場（東京都渋谷区）において、「水を考えるつどい」（主催：水循環政策本部、国土交通省、東京都、水の週間実行委員会）が開催され、300 名を超える方々にご来場いただきました。

主催者挨拶後、まず平成 27 年 3 月～5 月にかけて公募・選定され、今後の水循環政策のシンボルともなる「健全な水循環」に関するロゴマークの発表が行われました。発表にあたっては、応募総数 1,457 通から最優秀賞に選ばれた奥野美穂さん（大阪府）から、受賞の感想及びロゴマークのデザインについてコメントをいただきました。

その後、「第 37 回全日本中学生水の作文コンクール」の表彰式、最優秀賞（内閣総理大臣賞）に選ばれた天野加奈子さんによる受賞作品の朗読披露が行われ、水の大切さと水を届けてくれる人たちへの感謝について語られました。

休憩を挟んで、タレントの生島ヒロシさん、マッハ文朱さん、及びミス日本「水の天使」の柴田美奈さんをゲストに迎え、水に関するトークショーが実施されました（司会：フリーアナウンサーの水野悠希さん）。このトークショーでは、各ゲストの水に関するエピソードの紹介や、各ゲストが考える「水アクション」の発表を通じ、健全な水循環の重要性を PR し、盛況のうちに終了しました。

### 主催者挨拶



太田昭宏水循環政策担当大臣



安井順一東京都技監



虫明功臣水の週間実行委員会会長

## 「健全な水循環」に関するロゴマーク披露



「健全な水循環」に関するロゴマーク  
制作者 奥野美穂さん

## 第37回全日本中学生水の作文コンクール最優秀作文披露



第37回全日本中学生水の作文コンクール  
最優秀賞 天野 加奈子さん  
(愛媛県松山市立椿中学校3年)

## 第37回全国中学生水の作文コンクール 受賞者集合写真





## 水に関するトークショー

司会：フリーアナウンサー 水野悠希さん

パネラー：生島ヒロシさん マッハ文朱さん 柴田美奈さん（ミス日本「水の天使」）



## 入賞作品等の展示



第37回全日本中学生水の作文コンクール



第30回水とのふれあいフォトコンテスト

## 水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」

平成 27 年 8 月 12 日（水）から 14 日（金）までの 3 日間、東京国際フォーラム（東京都千代田区丸の内）が開催する「丸の内キッズジャンボリー2015」に参加し、一部スペースを借りて「水のワークショップ・展示会」を開催しました。

「水のハッピーデー ～水について学ぼう！～」をテーマに、小学生の親子を対象として、今年も多くの組織、団体により、水にまつわるワークショップ形式の催し並びにパネル展示及びブース出展が行われ、子供たちに水の大切さをより深く知っていただく機会となりました。なお、開催期間中には、3,400 名を超える方々にご来場いただきました。

丸の内キッズジャンボリーとは

2007 年に東京国際フォーラムの開館 10 周年記念事業としてスタート。子供たちへの未来への夢を育む参加・体験型イベントは、丸の内の夏の風物詩として定着。参加した企業、団体、行政機関、NPO 法人などは 119 にのぼる。2015 年は延べ約 9 万 5 千人が参加。

展示会テーマ 「水のハッピーデー ～水について学ぼう！～」

### 【ワークショップ】

「ぐるっと地球を回っちゃおう！親子でめぐる水の探検！」

【特定非営利活動法人 日本水フォーラム】

「水道キャラバン特別編 東京の水道を学ぼう！」

【東京都水道局】

「森林の働きとおいしい水」

【一般社団法人 日本治山治水協会】

「田んぼの水の恵み」

【公益社団法人 農業農村工学会 / 全国水土里ネット】

「お天気キャスターと一緒に考えよう！親子で学ぶ防災教室～雲と雨の不思議～」

【特定非営利活動法人気象キャスターネットワーク】

「下水道ってなんだろう？ ～みんなでいっしょにかんがえよう～」

【東京都下水道局】

### 【展示等出展団体】

- ・東京都水道局
- ・国土交通省水管理・国土保全局下水道部 / 東京都下水道局 / GKP（下水道広報プラットフォーム）
- ・一般社団法人 ダム工学会 / ダム工事総括管理技術者会
- ・公益社団法人 農業農村工学会 / 全国水土里ネット
- ・一般社団法人 日本治山治水協会
- ・国土交通省 関東地方整備局
- ・巧水（たくみ）スタイル推進チーム

## 「ワークショップ」



【特定非営利活動法人 日本水フォーラム】  
ぐるっと地球を回っちゃおう！親子でめぐる水の探検！

分かりやすく「水循環」を学ぶため、「プロジェクト WET」のエducーターを活用した、体験型のプログラムを実施。



【東京都水道局】  
水道キャラバン特別編  
東京の水道を学ぼう！

東京都の管理する様々な水道施設を、映像を通じて見学。安全でおいしい水道水ができるまでの取組などを学習。



【一般社団法人 日本治山治水協会】  
森林の働きとおいしい水

森林に降った雨はどこに流れていくのか、森林が育んだ水はなぜおいしいのかなどについて学習。また、3種類の森林の水（ミネラルウォーター）の試飲を行い、味の違いを体験。



【公益社団法人 農業農村工学会 / 全国  
水土里ネット】

### 田んぼの水の恵み

運営

東京大学水利環境工学研究室

東京農工大学水利環境保全学研究室



田んぼに水をためることによりもたらされる水の恵みや、田んぼで暮らす生き物について説明し、農業用水の大切さについて学習。



【特定非営利活動法人 気象キャスター  
ネットワーク】

お天気キャスターと一緒に考えよう！  
親子で学ぶ防災教室～雲と雨の不思議～

雲から降ってくる雨や、雨が引き起こす自然災害についてテレビで活躍中の気象キャスターがわかりやすく解説。



【東京都下水道局】

下水道ってなんだろう？ ～みんなで  
いっしょにかんがえよう～

「トイレトペーパー実験」、「沈でん実験」、「雨水ます実験」の3つの実験を通じて下水道の役割などについて学習。

## 「展 示」



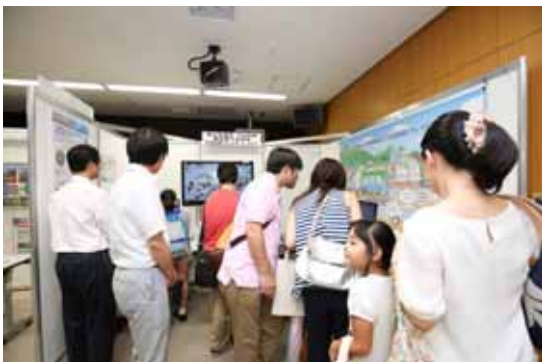
### 【東京都水道局】

水道水の安全性及び安全確保の取組、また、くみ置き・節水など非常時に備えた対応について、パネルや模型を用いて紹介。



### 【国土交通省水管理・国土保全局下水道部 / 東京都下水道局 / GKP (下水道広報プラットフォーム)】

下水道のしくみや役割、微生物などを紹介したパネル展示を実施。また、下水をきれいにするために重要な役割を持つ微生物を顕微鏡で観察。





【一般社団法人 ダム工学会 / ダム工事  
総括管理技術者会】

「本物・手作り・参加型」を基本に水力発電模型の実演やダムクイズなどを通して、来場者の疑問にダム博士が答えると共に、ダムへの正しい理解や知識についての啓発活動を実施。



【公益社団法人 農業農村工学会 / 全国  
水土里ネット】

いのちを育む水の恵みや、農業を通じて育まれる文化や農村環境についてパネルで展示。また、タブレット端末を活用した、水利施設の仕組みや水の流れについて学ぶことのできるゲームを実施。





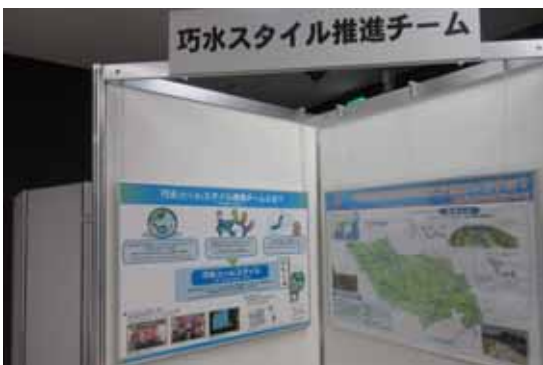
【一般社団法人 日本治山治水協会】

森林が育む水について理解を深めてもらうため、森林の働き等をパネルで紹介。また、全国各地の森林（もり）の水（ペットボトル）の展示を実施。



【国土交通省関東地方整備局】

国土交通省関東地方整備局が管理している河川やダムにおける最近の取り組みについて紹介。



【巧水(たくみ)スタイル推進チーム】

「巧水（たくみ）スタイル」とは、賢く水を使う社会ということ。普通に生活をする中でこんなにも簡単に水を賢く使うことができるのだということをパネルで紹介。

なお、「水のワークショップ・展示会」は、J-POWER の「エコ×エネ体験プロジェクト」と相互協力の下実施しました。

## 平成 27 年度水資源功績者表彰

水資源行政の推進に当たって、水源地域の振興、水環境の保全、水源涵養、水資源の有効活用等に永年にわたって尽力されたことなど、特に顕著な功績のあった個人及び団体が、水資源功績者として表彰されました。表彰式が平成 27 年 8 月 3 日（月）に国土交通省特別会議室において開かれ、太田昭宏国土交通大臣から表彰状が授与されました。

[個人] 2名

受賞者	功績概要
<small>ないとう くめお</small> 内藤 久米雄 (福井県)	約 30 年間水道事業に携わり、多大な貢献をされ、退職後も独自で地下水塩水化の研究を続けられ顕著な功績を残された。
<small>ふるや よしひろ</small> 古屋 佳浩 (山梨県)	半世紀にわたり造林事業に従事されてきた。また、林業公社造林事業、保安林整備事業の推進にも携わり、急峻な山岳地帯に優良造林地を造成し、水資源のかん養と保全に貢献した。

[団体] 8団体

受賞者	功績概要
岩手中部土地改良区 (岩手県)	農業用水を安定供給するための不断の管理と、地域住民へ農業用水の持つ多面的機能について啓発活動を実施している。
<small>すかがわ せいら</small> 須賀川に清流を取り戻す市民の会 (福島県)	生活排水等により、水質や河川環境が悪化してしまった“須賀川”（通称、下の川）の自然保護活動と自然環境保全をとおして小学生への環境学習の実施している。
多摩川源流研究所 (山梨県)	14 年間に渡り、多摩川源流を活かし源流にこだわった村作りを進め、地域活性化、上下流交流に大きく貢献している。
尾張地域地下水保全対策協議会 (愛知県)	節水努力や工業用水道への切替などを講演会、施設見学会等を実施することにより長年にわたり会員に周知することで、地域の地下水資源保全に寄与している。



<p>とよがわ 豊川総合用水土地改良区 (愛知県)</p>	<p>63 年間、農業用水を適切に管理するとともに、豊川総合用水事業や豊川用水二期事業を推進し、水資源開発及び農業用水の安定供給に貢献され、東三河地域を日本屈指の農業地帯とする原動力となった。</p>
<p>特定非営利活動法人かい ろう基山 (佐賀県)</p>	<p>平成 20 年から森林環境税を財源とした事業を活用し、一級河川の上流部において竹林の整備を推進するとともに、地元住民や一般参加者らと広葉樹林を植栽するなど、里山の再生活動を通じた水源林の整備・管理及び普及啓発活動を行っている。</p>
<p>一般財団法人化学及血清 療法研究所 (熊本県)</p>	<p>水源涵養を目的とする植林事業を実施するとともに、地下水涵養を目的として農家の協力のもと水田湛水事業への取組を実施している。</p>
<p>特定非営利活動法人大淀 川流域ネットワーク (宮崎県)</p>	<p>児童生徒をはじめとする県民を対象とした体験型環境学習会の実施等により、大淀川の河川環境保全のために尽力している。</p>



## 「健全な水循環」に関するロゴマーク

平成 26 年 7 月に水循環基本法が施行され、8 月 1 日が国民の間に広く健全な水循環の重要性について理解や関心を深める日として法律で定められた「水の日」となったこと、今後 8 月 1 日には「水の日」の趣旨にふさわしい記念イベントの開催が予定されていることを踏まえ、これらのイベント等に使用し、健全な水循環についての国民運動の象徴として国民に親しまれるロゴマークを募集しました。当該ロゴマークの募集に対しては 1,457 件の応募があり、審査の結果、最優秀賞 1 作品及び優秀賞 4 作品が選ばれ、最優秀作品については平成 27 年 8 月 1 日（土）に国連大学ウ・タント国際会議場にて開催された「水を考えるつどい」にて披露されました（P6 参照）。概要は以下のとおりです。

(1) 主催

内閣官房水循環政策本部事務局、水の週間実行委員会

(2) 募集作品

水の恩恵、水への親近感、水の大切さなどをイメージさせ、「健全な水循環」を象徴する作品

(3) 募集期間 平成 27 年 3 月 27 日（金）～5 月 29 日（金）

(4) 応募点数 総計 1,457 点

(5) 審査委員 ※ 順不同 敬称略 審査当時

内閣官房水循環政策本部事務局	審議官	秋本	佳則
内閣官房水循環政策本部事務局	参事官	廣木	謙三
内閣官房水循環政策本部事務局	参事官	宮崎	正信
内閣官房水循環政策本部事務局	参事官	津村	晃
内閣官房水循環政策本部事務局	参事官	塩屋	俊一
内閣官房水循環政策本部事務局	参事官	二村	英介
内閣官房水循環政策本部事務局	参事官	塚原	浩一
水の週間実行委員会	運営委員長	西川	智

(6) 最優秀作品



制作者： 奥野美穂さん（大阪府）

コンセプト：

永遠の循環を表す無限（∞）のマークと、雫のフォルム、そして水に対する親しみと身近さを表す笑顔を組み合わせました。

## 第 37 回全日本中学生水の作文コンクール

全国の中学生及び海外日本人学校在学の日本人中学生を対象に、「水について考える」をテーマとする「第 37 回全日本中学生水の作文コンクール」を開催し、本年は 345 校より総数 16,432 編の応募がありました。各都道府県の地方審査、中央審査会の審査等により、最優秀賞 1 編、優秀賞 9 編及び入選 27 編（P19 参照）が選ばれました。表彰式は平成 27 年 8 月 1 日（土）に国連大学ウ・タレント国際会議場にて開催された「水を考えるつどい」にて実施され、最優秀賞受賞者に太田昭宏水環境政策担当大臣から、優秀賞受賞者に永岡桂子厚生労働副大臣、中川郁子農林水産大臣政務官、福山守環境大臣政務官ほか、関係機関代表者等から賞状が授与されました。

### (1) 主催等

主 催：水循環政策本部、国土交通省、都道府県

後 援：文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、水の週間実行委員会、独立行政法人水資源機構、全日本中学校長会

### (2) 募集要領

①テ ー マ：「水について考える」（題名は自由）

②原 稿：400 字詰原稿用紙 4 枚以内

### (3) 中央審査会審査委員 ※ 50 音順、敬称略 審査当時

秋本 佳則 （国土交通省大臣官房審議官：内閣官房水循環政策本部事務局審議官）

飯野 博史 （全日本中学校長会編集部部長）

上村 寿一 （独立行政法人水資源機構理事）

塩屋 俊一 （農林水産省農村振興局整備部水資源課長：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）

須磨 佳津江（キャスター）

玉野井 晃 （公益社団法人日本水道協会調査部長）

津村 晃 （経済産業省経済産業政策局地域経済産業グループ産業施設課長：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）

長崎 宏子 （スポーツコンサルタント）

二村 英介 （環境省水・大気環境局水環境課長：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）

宮崎 正信 （厚生労働省健康局水道課長：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）

※ 本作文コンクールについては、政府全体の取組とするため、昨年度より最優秀賞に内閣総理大臣賞を、優秀賞に厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、環境大臣賞を、本年度より経済産業大臣賞を新たに創設しました。

※ 受賞者集合写真については P6 をご覧ください。

## 内閣総理大臣賞（最優秀賞）

### かけがえのない「水」への思い

愛媛県 松山市立椿中学校 三年 天野 加奈子

私には水にまつわる楽しい思い出がある。幼い頃、父の仕事の関係で松山市外に住んでいた。そこは自然が豊かで、休日には川辺で水遊びやキャンプをしていた。身近なところに豊かな水があふれていた。また、夏休みになると、松山に住む祖母のところにいき、いとこたちと水遊びをしていた。ホースで水の掛け合いをしたり、ビニールプールで泳いだりした。

「水は冷たくて気持ちいいから、楽しく遊んでいいんだよ。」  
祖母の優しい言葉とみんなの笑い声が、今でも耳に残っている。

数年後、私たちは松山に引っ越し、祖母の近所で暮らすことになった。そこで最初に驚いたのが、近くを流れる重信川の水量の少なさだった。河原は石ころだらけで、川遊びをしている人をほとんど見かけない。至るところに「水を大切に!」「節水をしよう!」というポスターやシールが貼られている。松山の人は水を大切にしていることを知った。なぜだろう。その疑問を、父にぶつけてみた。するとこう返ってきた。

「おばあちゃんの家は、昔農家だったから、水源が地下水なんだ。だから普段は気にせず、自由に水を使っている。でも、一般の家庭は、ダムから引いた水道を使っているから、節水に気を付けなければならぬ。そして、他のどの地域よりも松山の人が水の使い方に敏感なのは、ある出来事があったからなんだ。」

父は話を続けた。  
「加奈子が生まれるずっと前の平成六年、松山で大渇水が起こった。雨が降らないせいで、ダムの水が涸れてしまった。給水制限があり、一日に二、三時間しか水が出ない日もあった。給水車が地域を回って水を配ったりもした。」

「じゃあ、お風呂やトイレは?」

「入りたいときにお風呂に入れないから、タオルで体を拭いて我慢したことあった。バケツに水を溜めておき、ひしゃくですくってトイレに

流していたよ。渇水のせいで、当たり前前の生活ができなくなってしまったんだ。もっと困っていたのは、水を使う仕事をしてきた人たちだった。知り合いの理髪店では、お客さんの髪を洗うためにバケツに水を溜めていたけど、それが足りなくなると、営業時間を短くするなど、本当に苦労していた。」

父の話に大きな衝撃を受けた。そして、松山の人たちが水を大切にしている理由が分かった。水は当たり前前にあるものではないことを、身に染みて知っているのである。

振り返ってみると、私にも水の大切さに気付く機会があった。公共のプールの開始が遅れたのはなぜだろう。テレビをつけると毎日石手川ダムの貯水率を放送しているのはなぜだろう。前に書いた理髪店は、大渇水の後、お店に貯水タンクを設置したらしい。水を出しっ放しにしている自分が、ひどく恥ずかしくなってきた。

人類は大昔から、水のあるところに村を作り、田畑を耕して生活してきた。水の豊富な大河に沿って文明が栄え、私たちの暮らしのもととなった。生命の源である大切な水を私たちのところに届けるために、ダムや河川、浄水場、水道課など、多くの方々が関わってくださっている。これらのことを、忘れてはならない。

今回のことで、水についてたくさんのお話を学んだ。水について知り、考えることができた。蛇口はこまめに止める、水を溜めて食器を洗う、お風呂の水を再利用するなど、これからの生活を見直すきっかけになった。

かけがえのない資源「水」

これから水と、届けてくれる方たちへの感謝の気持ちを大切にしていきたい。水資源を守るために、身近なところから、「節水」につながる取り組みをしていきたいと思う。

# 第37回全日本中学生水の作文コンクール入賞者一覧

賞名	都道府県名	作文の題名	学校名	学年	ふりがな氏名
最優秀賞 内閣総理大臣賞	愛媛県	かけがえない「水」への思い	まつやましりつつかがみいしちゅうがっこう 松山市立椿中学校	3	あまの かなこ 天野 加奈子
優秀賞 厚生労働大臣賞	福島県	努力の結晶	かがみいしちゅうりつつかがみいしちゅうがっこう 鏡石町立鏡石中学校	2	やぎめま ゆうり 柳沼 優吏
優秀賞 農林水産大臣賞	栃木県	過去から未来へ	きの にほん だいがくちゅうとせうがくがっこう 佐野日本大学中等教育学校	1	いしかわ 石川 みさ 未彩
優秀賞 経済産業大臣賞	徳島県	美しい生命の水を守るために	なると きょういだいがくふぞく ちゅうがっこう 鳴門教育大学附属中学校	3	やまね 山根 あやか 綾華
優秀賞 国土交通大臣賞	福島県	かけがえない水	ふくしま しりつ ほうくしん ちゅうがっこう 福島市立北信中学校	3	えんどう 遠藤 りょうすけ 亮佑
優秀賞 環境大臣賞	福島県	四季の味がする水	ふくしま だいがくふぞく ちゅうがっこう 福島大学附属中学校	3	すずき 鈴木 やすもと 康源
優秀賞 全日本中学校長協会会長賞	山梨県	先人たちが残した水の恵み	ほくと しりつ こうりやちゅうがっこう 北杜市立甲陵中学校	2	こばやし 小林 れいか 礼佳
優秀賞 独立行政法人水資源機構理事長賞	埼玉県	滝沢ダムの一滴	ちちぶ しりつ あらかわちゅうがっこう 秩父市立荒川中学校	3	みやた 宮田 ほのか 帆乃香
優秀賞 水の週間実行委員会会長賞	徳島県	水の輝き、それは命の源	なると きょういだいがくふぞく ちゅうがっこう 鳴門教育大学附属中学校	3	いむら 井村 はなこ 華子
優秀賞 全日本中学生水の作文コンクール中央審査会特別賞	徳島県	私たちの水資源	あなんしりつ なかがわ ちゅうがっこう 阿南市立那賀川中学校	3	ひろせ 廣瀬 まこ 萌瑚
入選 (27編)	岩手県	使い分けの知恵に学ぶ	いわてけんりついちのほまほまいちこうがく ちゅうがっこう 岩手県立一関第一高等学校附属中学校	3	さとう 佐藤 のん 暢
	宮城県	「意識」を変えろ	とね しりつ なかだ ちゅうがっこう 登米市立中田中学校	3	わたなべ 渡邊 ちなみ ちなみ
	福島県	私の生活と水	ひらた せんにつよまぎだちゅうがっこう 平田村立蓬田中学校	2	かとおの 上遠野 まゆみ 幸
	千葉県	香川の水事情を聞いて	やちよ しゅういんちゅうがっこう 八千代松陰中学校	3	かとう 加藤 まき 咲希
	神奈川県	目に見えない水の恵み	せんぞくがくせんちゅうがっこう 洗足学園中学校	1	みづら 三浦 あづみ 碧美
	富山県	富山県で節水は必要なの？	たかおがしりつ なしの ちゅうがっこう 高岡市立芳野中学校	2	はやし 林 えり えり
	富山県	水紛争について考える	たかおがしりつ こうりやちゅうがっこう 高岡市立高陵中学校	2	みなべ 三邊 ゆきな 幸奈
	山梨県	緑の山を守るために	やまなし だいがくきょうがくせいじんがくふぞく ちゅうがっこう 山梨大学教育人間科学部附属中学校	3	おいら 小平 しゅり 守莉
	静岡県	川はやすらぎ	しずおかしりつ しみず だいがくちゅうがっこう 静岡市立清水第八中学校	3	いいで 飯田 ゆうた 祐大
	静岡県	水に対する私の思い	しずおかしりつ かんばらちゅうがっこう 静岡市立蒲原中学校	1	おおつ 大津 あやか 亜矢香
	愛知県	水の声を聞け	とよはし しりつ なんぶ ちゅうがっこう 豊橋市立南部中学校	3	なかがわ 仲川 あづみ 晴斐
	愛知県	水を考える	とこなめ しりつ なんりやちゅうがっこう 常滑市立南陵中学校	3	くの 久野 みゆ 美裕
	滋賀県	きれいな水、やさしい水であるために	しが けんりつかわせ ちゅうがっこう 滋賀県立河瀬中学校	3	うの 宇野 ひかり ひかり
	京都府	水	きょうと がくせんちゅうがっこう 京都学園中学校	3	よしだ 吉田 あきひと 明仁
	大阪府	目指すは、水ビジネス、3K	おおさかきょういだいがくふぞく いけだ ちゅうがっこう 大阪教育大学附属池田中学校	2	うえだ 上田 ももか 萌加
	大阪府	水道水は魔法の水ではない	おおさかきょういだいがくふぞく いけだ ちゅうがっこう 大阪教育大学附属池田中学校	1	つくだ 佃 あけみ 知采
	兵庫県	雨水の利用	にしのみやしりつにのみやほまほまちゅうがっこう 西宮市立西宮浜中学校	3	うじはら 氏原 あけみ 新菜
	広島県	水資源活用の未来を考える	ひろしましりつ こくたしちゅうがっこう 広島市立国泰寺中学校	3	くぼた 窪田 あけみ 果琳
	山口県	踏み出そう、確かな一歩	やまぐちだいがくきょうがくせいじんがくふぞく ちゅうがっこう 山口大学教育学部附属山口中学校	2	のうみ 能美 ちえ 千愛
	香川県	”水”について考えたこと	たかまつしりつやしんちゅうがっこう 高松市立屋島中学校	2	やまだ 山田 あづみ 杏
	香川県	「水を思う」	かがわだいがくきょうがくせいじんがくふぞく たかまつちゅうがっこう 香川大学教育学部附属高松中学校	3	しろかわ 白川 てつろう 哲郎
	愛媛県	水の町に住んで	まつやましりつ くの ちゅうがっこう 松山市立久米中学校	1	どい 土居 そうた 奏太
	熊本県	友情の水	あまくさ しりつ こしやうら ちゅうがっこう 天草市立御所浦中学校	1	ふくべ 福部 ゆめと 夢人
	熊本県	循環する水のためにできること	がっこう ほうしん しゅうけいがくせん しょうけいちゅうがっこう 学校法人尚綱学園 尚綱中学校	3	すずたに 鈴谷 あけみ 美紀
	大分県	水の力	おなほちちゅうがっこう 南端中学校	2	よしもと 吉本 いづり 伊央利
	鹿児島県	過去から学ぶ水資源	がっこう ほうしん つまがりがくせん かごしま しゅうがくけんちゅうがっこう 学校法人津曲学園 鹿児島修学館中学校	2	たしろ 田代 あけみ 紗彩
	沖縄県	守り続ける水	みやこしま しりつ きたちゅうがっこう 宮古島市立北中学校	3	おおはま 大濱 あけみ 愛里

## 一日事務所長体験

全日本中学生水の作文コンクールの優秀賞以上の受賞者を在住地近隣の関係機関の事務所等に招待し、一日事務所長体験として職場体験を実施しております。本年度は、優秀賞以上の受賞者 10名のうち、希望者7名が以下のとおり一日事務所長を体験しました（実施日順）。

- 受賞者名 佐野日本大学中等教育学校  
石川未沙さん  
優秀賞（農林水産大臣賞）  
実施日 平成 27 年 8 月 12 日（水）  
実施事務所 独立行政法人水資源機構  
草木ダム管理所



- 受賞者名 北杜市立甲陵中学校  
小林礼佳さん  
優秀賞（全日本中学校校長会会長賞）  
実施日 平成 27 年 8 月 14 日（金）  
実施事務所 国土交通省関東地方整備局  
甲府河川国道事務所



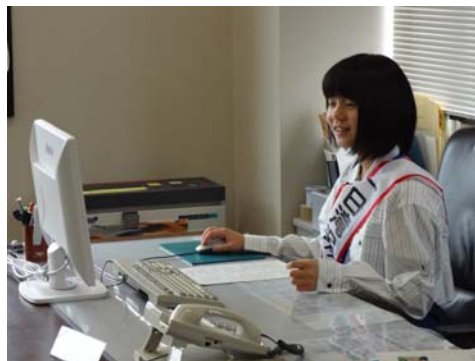
- 受賞者名 福島大学附属中学校  
鈴木康源さん  
優秀賞（環境大臣賞）  
実施日 平成 27 年 8 月 19 日（水）  
実施事務所 国土交通省東北地方整備局  
摺上川ダム管理所



- 受賞者名 松山市立椿中学校  
天野加奈子さん  
最優秀賞（内閣総理大臣賞）  
実施日 平成 27 年 8 月 24 日（月）  
実施事務所 国土交通省四国地方整備局  
松山河川国道事務所



○受賞者名 秩父市立荒川中学校  
宮田帆乃香さん  
優秀賞（水資源機構理事長賞）  
実施日 平成 27 年 8 月 24 日（月）  
実施事務所 独立行政法人水資源機構  
荒川ダム総合管理所



○受賞者名 鳴門教育大学附属中学校  
井村華子さん  
優秀賞（水の週間実行委員会会長賞）  
実施日 平成 27 年 8 月 26 日（水）  
実施事務所 独立行政法人水資源機構  
旧吉野川河口堰管理所



○受賞者名 阿南市立那賀川中学校  
廣瀬萌瑚さん  
優秀賞（全日本中学生水の作文コンクール中央審査会特別賞）  
実施日 平成 27 年 8 月 31 日（月）  
実施事務所 国土交通省四国地方整備局  
那賀川河川事務所



## 第30回水とのふれあいフォトコンテスト

主催等 主催 水の週間実行委員会  
後援 国土交通省、東京都、(独)水資源機構  
協賛 富士フイルムイメージングシステムズ(株)

募集作品 健全な水循環の重要性や水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発の重要性について広く理解と関心を深めることに資する作品

例) ・生命を支え、育む水  
・ダムや水路、水道など水をつくり、供給するもの  
・くらしの中の水  
・歴史とともにある水の風景 など

募集期間 平成27年4月16日(木)～6月19日(金)

応募状況 総計 2,194点

作品展示 平成27年8月1日(土)  
国連大学3F ホワイエ  
※ その他、イベント等での展示を予定。

審査員(敬称略)

中谷 吉隆(写真家) 秋本 佳則(国土交通省大臣官房審議官)  
内田 勲(写真家) 安井 順一(東京都都市整備局長(審査当時))  
筑紫 ゆうな(切り絵作家) 西川 智(水の週間実行委員会運営委員長)

※ この「水とのふれあいフォトコンテスト」は、「河川整備基金」の助成を受けて実施しております。



「河川整備基金」は、河川整備を民間の協力を得て緊急に推進するため、政府の協力(閣議了解)に基づき昭和63年度に設立され、国民各層・企業・全国の地方募金委員会等が資金を拠出(寄付)して造成されているものです。

この基金の運用益(利息)から、安全で良好な“河川環境”を目指してよりよい“川づくり”に役立つ様々な活動に対して支援を行うことによりわが国の河川整備の効率的な推進に寄与することを目的としています。

河川整備基金では、これらの目的のために河川・ダム・砂防・海岸等に関する調査・試験・研究、環境整備対策、国民的啓発運動の様々な活動に対して助成を行っています。



## 【第30回水とのふれあいフォトコンテスト受賞作品】

〔グランプリ〕 1名

○ 国土交通大臣賞

おくむら ひろみ  
奥村 博己（京都府）

画題：「亀さん、来たよ」



〔優秀賞〕 3名

○ 東京都知事賞

こいけ ちとお  
小池 基夫（東京都）

画題：「神田川船渡御」



○ 水の週間実行委員会会長賞

ふくだ なおと  
福田 尚人（滋賀県）

画題：「夏を満喫」



○ 独立行政法人水資源機構理事長賞

くろだ よしお  
黒田 良男 (埼玉県)

画題：「錦秋」



〔特別賞〕 1名

○ 審査員特別賞

みやざき きょうか  
宮崎 京香 (東京都)

画題：「撃たないで！」



〔特選〕 5名

「天空の田植え」	清岡康彦	(東京都)
「湯快爽快」	佐藤進吾	(福島県)
「二人の気持ち」	鎌田貞美	(福岡県)
「見入る」	平野昌子	(神奈川県)
「河口湖の春」	浦川武弘	(長崎県)

〔入選〕 10名

「お母さんと一緒」	鳴瀬博美	「山里の七夕様」	石川賢一
「故郷に帰る」	高橋洋	「夏休み真っ最中」	當山剛
「夏の日」	北川孝	「水浴び」	中道ちあき
「水めるむ頃」	八田義明	「力を合わせて」	馬場歩
「花見の頃」	佐々木吉治	「竜宮城」	峠谷知樹

## 上下流交流活動

水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発、健全な水循環の重要性について、国民の間に広く理解と関心を深めるため、公募手続きを行った上、以下に掲げるダム水源地域等の上下流住民の交流を促進する活動計29件への助成等を実施しました。

No.	実施団体	名称・内容	日時・場所
1	北海土地改良区	<b>第10回北海幹線用水路ウォーキング</b> 北海幹線用水路が疎水百選に選定されたことを契機に始めたウォーキングイベント。農業用水利施設の機能、農業農村地域の多面的機能を一般の人たちに幅広く知ってもらう目的で実施。	H27. 7. 26(日) 北海道美唄市 (北海幹線用水路周辺)
2	豊正 FAM 協議会 ふれあい室	<b>フットパスイベント 第5回ピクニック交流会</b> 園芸福祉の畑作物を見学し、地域の水田と畑、小河川の堤防沿いを歩いて農村・河川風景を眺めながら散策。農産物の生産現場と農業用水や河川の重要性を知ってもらう目的で実施。	H27. 7. 4(土) 北海道岩見沢市
3	岩木川環境公共 ネットワーク協 議会	<b>第2回津軽ダム、西目屋村交流会</b> 水源地（津軽ダム）活用による地域観光に係る重要性の理解促進の目的で西目屋村地域と岩木川下流地域から参加者を募って、水源地である津軽ダム視察及び交流会を実施。	H27. 8. 20(水) 青森県中津軽郡西目屋村（津軽ダムほか）
4	夏井川流域の会	<b>夏井川上下流小学校交流事業</b> 夏井川流域の上下流（田村郡小野町及びいわき市）の小学校の児童の交流。水質や水生生物の調査を実施。	H27. 9. 10(木)ほか 福島県田村郡小野町及びいわき市
5	合唱組曲「利根川 源流讃歌」発表・ 実行委員会	<b>合唱組曲「利根川源流讃歌」第15回発表会</b> 群馬県及び関東近県の利根川流域上下流の人々の交流を目的として、「利根川源流讃歌（利根川流域で生きる人々や自然を称える12曲で構成）」の発表会を実施。	H27. 6. 27(土) 群馬県利根郡みなかみ町 (みなかみ町カルチャーセンター)
6	NPO法人 水のフ ォルム	<b>水がつなぐ 上下流友だち大作戦</b> 荒川下流域の埼玉県さいたま市在住者の参加を募り、浦山ダムの見学、滝沢ダムでの植林作業、並びに荒川上流域のNPOと参加者の交流を実施。	H27. 8. 15(土)～16(日) 埼玉県秩父市 (浦山ダム、滝沢ダムほか)
7	小鹿野町・川越市 命の水を訪ねる 上下流交流事業 実行委員会	<b>小鹿野町・川越市いのちの水を訪ねる上下流交流事業</b> 小鹿野町（合角ダム所在地）及び川越市在住の小学生（3年生～6年生）及び保護者による、県営合角ダムの見学、河川清掃、効き水体験、魚のつかみ取りその他を実施。	H27. 8. 22(土) 埼玉県秩父郡小鹿野町 (合角ダムほか)
8	神流川ビジョン 推進協議会	<b>神流湖ゴミゼロ活動</b> 埼玉県内のNPO団体、水道関係者、水源地域のカヌー愛好家及び地元住民により、神流湖（下久保ダム湖）周辺の美化活動を実施。	H27. 5. 31(日) 埼玉県児玉郡神川町 (下久保ダム)
9	墨田区太鼓連盟	<b>「草木湖まつり」における上下流交流</b> 草木ダムの竣工を契機とした、水源地域と東京都の交流の一環として、草木ダム受益地域（東京都）の和太鼓演奏団体による、「草木湖まつり」における吾妻太鼓の演奏。	H27. 8. 15(土) 群馬県みどり市 (東町運動公園)

No.	実施団体	名称・内容	日時・場所
10	一般社団法人東京ボート協会	<b>第 65 回東日本選手権</b> 東日本を中心としたボート愛好者、所属団体の参加による、戸田漕艇場における競漕大会。会場では、荒川上流のダムや武蔵水路に関するパンフレット配布等事業の紹介を実施。	H27. 6. 27(土)～28(日) 埼玉県戸田市 (戸田ボートコース)
11	NPO法人 荒川クリーンエイドフォーラム	<b>荒川源流エコツアー</b> 荒川下流域を中心に参加者を募り、秩父市の間伐残材の搬出(秩父市及び同市のボランティアの協力を得て)、原生の森トレッキング、その他秩父市民との交流・意見交換会等を実施。	H27. 9. 5(土)～6(日) 埼玉県秩父市 (荒川源流域)
12	九頭竜川下流域農業用水再編推進協議会	<b>学園外マルシェ</b> 農業用水路の役割や重要性、農村の様々な機能や役割を幅広く一般の人たちに周知する機会と地域農業の活性化を目的として、「せせらぎ水路公園」において外マルシェを開催。地域野菜の販売及びイベント(魚のつかみ取り等)を実施。	H27. 10. 3(土) 福井県吉田郡永平寺町 (せせらぎ水路公園ほか)
13	NPO法人 木曾川・水の始発駅	<b>2015 サマーキャンプ in KISOGAWA</b> 木曾川流域上～下流(名古屋市、清洲市、北名古屋市、日進市、木祖村等)在住の小学生の参加を得て、木曾川水源地域(木祖村)でのサマーキャンプ実施。	H27. 8. 7(金)～9(日) 長野県木曾郡木祖村ほか (味噌川ダム及び周辺)
14	未来世紀へつなぐ緑のバトン実行委員会	<b>水と緑の感謝祭</b> 愛知用水受益地(愛知県・岐阜県)の住民の参加を得て、愛知用水の水源地である王滝村において、森林整備、コンサート、特産品の販売やトレッキングを実施。	H27. 6. 7(日) 長野県木曾郡王滝村 (松原スポーツ公園)
15	生命の水と森の活動センター協議会	<b>徳山湖上流探訪</b> 森林保護・育成の意識向上を図ることを目的として岐阜県西濃地区を中心とした中部圏の小中学校児童・生徒並びに揖斐川町及び近隣市町村在住者を得て、徳山湖及び上流域の森を探訪する。	H27. 8. 29(土) 岐阜県揖斐郡揖斐川町 (徳山ダム及びその周辺)
16	NPO法人揖斐自然環境レンジャー	<b>実のなる木を植えよう大作戦</b> 西濃地域(揖斐川中流域)を中心とした在住者の参加を得て、野生生物の餌となるクリ、トチノキ、ブナ、オニグルミなど「実のなる木」の徳山ダム周辺への植栽活動等を実施。	H27. 11. 3(火・祝)(予定) 岐阜県揖斐郡揖斐川町 (徳山ダム及びその周辺)
17	愛知用水土地改良区	<b>愛知用水水源交流事業</b> 愛知県知多郡南知多町、美浜町及び武豊町在住の愛知用水土地改良区関係者を対象として、水源地域(王滝村)での育樹作業並びに水源地域の現状及び今後の発展等に係る意見交換を実施。	H27. 7. 21(火)～22(水) 長野県木曾郡王滝村 (牧尾ダム及びその周辺)
18	余呉・姫里子ども交流会実行委員会及び姫里地域青少年育成会	<b>余呉・姫里子ども交流交歓会</b> 滋賀県長浜市余呉町及び大阪市西淀川区姫里地域の小学生の参加を得て、レクリエーション活動を通じた交流を行う外、琵琶湖・淀川の源流の水がどのような形で下流まで届き、どのように使われているか等、仕組み及び水の大切さを学ぶ。	H27. 8. 8(土)～9(日) 滋賀県長浜市余呉町周辺
19	天若湖アートプロジェクト実行委員会	<b>天若湖アートプロジェクト「あかりがつなぐ記憶」</b> 日吉ダム建設時水没移転した天若集落各戸の位置にLED照明を浮かべ、かつての夜景を再現するイベントやをアート展示を実施。下流域(大阪・京都)や地元から観覧者多数を見込む。	H27. 8. 8(土)～9(日) 京都府南丹市 (日吉ダム及びその周辺) ※展示は4月より実施。

No.	実施団体	名称・内容	日時・場所
20	森林ボランティア フォレスター うじ	<b>天ヶ瀬森林公園復旧整備活動と天ヶ瀬ダム裸地に植樹するどんぐりプロジェクト</b> 宇治市及び周辺の地域住民による天ヶ瀬森林公園の災害復旧活動と同公園に自生するどんぐりを苗木に育てて天ヶ瀬ダム裸地への植樹活動。	H27. 6. 21(日) ～ 11. 8(日)の間の5回 京都府宇治市 (天ヶ瀬森林公園ほか)
21	布目川を美しく する会	<b>水生昆虫観察会</b> 布目川流域及び近隣の小学生及び保護者の参加を得て、布目ダムにおいて水生昆虫の観察会を実施。水源地域在住者を講師に迎え、水生昆虫採取とともにその生態や河川環境について学習。	H27. 7. 26 (日) 奈良県山辺郡山添村 (布目ダム及びその周辺)
22	近畿大学農学部 環境管理学科里 山生態学研究室	<b>布目ダム施設見学会 近畿大学環境学習会</b> 布目川流域及び奈良市内の小中学生の参加を得て、布目ダム上下流河川に生息している生物について学習会を開催する	H27. 7. 26 (日) 奈良県山辺郡山添村 (布目ダム及びその周辺)
23	吉野川・紀の川流 域協議会	<b>夏休み親子わくわくカヌー体験</b> 紀の川上流～下流沿川の市町村の居住者の参加を得て、カヌー体験等のレクリエーション活動を実施。	H27. 8. 8(土) 和歌山県紀の川市
24	NPO法人 さくら おろち	<b>おろちの水を探せ ～尾原ダム・さくらおろち湖の真夏の水源環境学習ラリー～</b> 斐伊川下流域の松江市、出雲市、雲南市北部住民の参加を得て、クイズラリーや、尾原ダム周辺の水管理に関する遺跡等を巡るイベント「水のたんけん隊」を実施。	H27. 7. 18(土) ～8. 31(月) 島根県奥出雲市 (尾原ダム及びその周辺)
25	NPO法人 新町川 を守る会	<b>さめうら水源の森整備交流会</b> 徳島県・香川県及び高知県嶺北地域住民の参加を得て、早明浦ダム周辺にて、治山保水機能の向上のため、単一林地を針葉樹・広葉樹の混合林地化する活動(広葉樹の植樹、下草の伐採)を実施。	H27. 6. 12(金)～13(土) 高知県土佐郡大川村 (早明浦ダム及びその周辺)
26	土佐町Happiness スポーツクラブ	<b>さめうら湖横断チャレンジ2015</b> 高知県内スポーツクラブや吉野川下流域・利水地域からの参加を得て、早明浦ダム湖を土佐町進入路(さめうら荘下)から対岸までの往復約800mを泳ぐイベントを実施。	H27. 8. 2(土) 高知県土佐郡大川村 (早明浦ダム及びその周辺)
27	福岡県朝倉郡東 峰村	<b>小石原焼窯元めぐりと陶芸体験</b> 江川ダム及び小石原川ダムの受益地域住民の参加を得て、東峰村の陶芸家による小石原焼の実演・陶芸体験の外、小石原川源流の水源林を現地ガイドが案内して散策するイベントを実施。	H27. 8. 30 (日) 福岡県朝倉郡東峰村 (旧小石原小学校(水源 地活性化拠点施設予 定地)ほか)
28	次世代のために がんばる会	<b>氷川ダムホタル乱舞作戦</b> 熊本県八代市内の居住者の参加を得て、氷川におけるカワニナの投与と水質検査の学習会を行う外、氷川ダムにおけるデイキャンプや、防災に関する勉強会等を実施。	H27. 5. 31(日)ほか 熊本県八代市 (白岩戸公園、氷川ダ ムほか)
29	NPO法人 天命水 の会	<b>上下流交流 in 緑川</b> 緑川流域住民の参加を得て、緑川中流域の緑川ダム周辺を見学してダムの役割について学ぶ外、緑川上流域の住民との交流活動を実施。	H27. 11. 8(日)(予定) 熊本県下益城郡美里 町 (緑川ダムほか)

【実施状況例】



第10回北海幹線水路ウォーキング  
(北海土地改良区)



夏井川上下流小学校交流事業  
(夏井川流域の会)



合唱組曲「利根川源流讃歌」第15回発表会  
(合唱組曲「利根川源流讃歌」発表・実行委員会)



「草木湖まつり」における上下流交流  
(墨田区太鼓連盟)



小鹿野町・川越市いのちの水を訪ねる上下流交流事業  
(小鹿野町・川越市いのちの水を訪ねる上下流交流事業実行委員会)



徳山湖上流探訪  
(生命の水と森の活動センター協議会)



天ヶ瀬森林公園復旧整備活動と天ヶ瀬ダム裸地に植樹するどんぐりプロジェクト  
(森林ボランティア フォレスターうじ)



布目ダム施設見学会近畿大学環境学習会  
(近畿大学農学部環境管理学科里山生態学研究室)



夏休み親子わくわくカヌー体験  
(吉野川・紀の川流域協議会)



おろちの水を探せ～尾原ダム・さくらおろち湖の真夏の水源環境学習ラリー  
(NPO法人 さくらおろち)



さめうら湖横断チャレンジ2015  
(土佐町Happinessスポーツクラブ)



小石原焼窯元めぐりと陶芸体験  
(福岡県朝倉郡東峰村)

# 水の週間一斉打ち水大作戦

## 水の週間一斉打ち水大作戦 in 国土交通省の状況

平成 27 年 8 月 3 日(月)昼休みに、中央合同庁舎 3 号館正面玄関前にて「水の週間一斉打ち水大作戦 in 国土交通省」を実施しました。

国土交通省職員の手作りによる「打ち水」イベントも、今年で 12 回目となり、夏の恒例行事として知られるようになってきました。平成 21 年度から「水の日」・「水の週間」に併せた「水の週間一斉打ち水大作戦」として取り組んでおり、今回の国土交通省で実施した取り組みも、その一つです。打ち水は、原則として、お風呂の残り湯や下水再生水などといった二次利用水を活用するため、水資源の有効利用に結びつくだけでなく、ヒートアイランド対策にも貢献する取り組みとして、近年見直され、注目を浴びています。

打ち水に使用する水として、東京都下水道局から下水再生水約 700 リットルをご提供いただき準備しました。

当日は好天に恵まれ、夏の日差しが降り注ぐ中、水管理・国土保全局の北村水資源部長、塩路下水道部長以下クールビズの国土交通省職員、はっぴ姿の東京都下水道局の職員に加え、平成 27 年度ミス日本「水の天使」柴田美奈さんや水資源功績者など総勢約 100 人が参加しました。

「打ち水はじめ！」の号令とともに、一斉に撒かれた水により、10 分としないうちに、打ち水前は約 47.5 だった地面の温度も、約 41.6 まで下がりました。

皆様も打ち水を通じて涼しさや水を賢く使う先人の知恵を実感して頂き、水の有効利用について考えてみてはいかがでしょうか。



打ち水風景（ミス日本「水の天使」柴田美奈さんとともに）



打ち水風景（総勢約 100 名）



柴田美奈さんと東京都下水道局キャラクター「アースくん」と



参加者集合写真（太田大臣とともに）



## 国や地方公共団体等での実施状況

内閣官房をはじめとする国の各機関や地方公共団体等においても、水に関する理解を深めるための活動が広範に実施されました。

### ① 「水の日」ポスターの掲出

国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深めるために、ミス日本「水の天使」の柴田美奈さんを起用したポスターを約 20,000 枚作成し、関係府省庁、都道府県、市町村、中学校、東京メトロ等に配布、掲出しました（P34 参照）。

### ② 地方公共団体等における取り組み

東京においては、水の週間中央行事である「水を考えるつどい」、「水のワークショップ・展示会」のほか、昨年度に引き続き、「子ども霞ヶ関見学デー」にて、「水について考えてみよう！」をテーマに、展示を実施しました。また、「打ち水大作戦 in 国土交通省」も実施されました（P29 及び P31 参照）。

地方公共団体等においても、講演会やシンポジウム、施設見学会、上下流交流会、パネル展示、全日本中学生水の作文コンクールの地方表彰などの活動が実施され、新聞等により報道されました（P31～P33 参照）。

## 国・地方公共団体等における取り組み例

### 子ども霞ヶ関見学デー ～水について考えてみよう！～

日時 平成27年7月29日（水）～30日（木）

場所 合同庁舎2号館共用会議室2A（東京都千代田区霞ヶ関2-1-3）

主催 国土交通省水資源部水資源政策課（巧水（たくみ）スタイル推進チーム協力）

内容 水を大切に使う方法を分かりやすく体験できる「巧水（たくみ）スタイルヒント！ボード」を展示したほか、水の重要性、貴重さなどの理解を深めるパネルの展示を行いました。



子ども霞ヶ関見学デーの様子



巧水スタイルヒント！ボードで遊びながら  
節水について学ぶ子どもたち

※巧水（たくみ）スタイル推進チーム

節水意識の向上、節水型ライフスタイルの定着、節水機器・技術の普及等を目指し、産業界が中心となって、業界団体、学識者、地方自治体等が参画する活動チーム（2011年5月に発足。）

### 【東北農政局】第20回仙台七夕まつり“こどもに夢を”～明日へつながれ！みやぎの水土里～

日時 平成27年8月6日（木）～8日（土） 10:00～20:00

場所 仙台市勾当台公園市民広場（宮城県仙台市青葉区国分町3-1-1）

主催 東北農政局 [共催：宮城県、みどりネットみやぎ]

人数 約1,700人（3日間）※

内容 本イベントは、東北三大祭りの1つである「仙台七夕まつり」に、PRブースを出典。「こどもに夢を」をメインテーマに、健全な水循環の一翼を担っている農業農村整備事業について、平成8年度から広報活動を実施。水循環基本法で8月1日と定められた「水の日」の紹介（パネル設置）や水や生き物に親しんでもらうため「生きものふれあいコーナー」を設置。メダカやドジョウなどの展示やザリガニ釣りで大盛況となった。

「東北農政局」HP：<http://www.maff.go.jp/tohoku/tohokupic/tp201508/20150806-8.html>



東北農政局等によるPR活動



ザリガニ釣りコーナー

※ 1,700人は、3日間のアンケート回答数であり、その他「仙台七夕まつり」の来場者が、多数参加。

### 【熊本県】平成27年度くまもと水の週間記念式典

日時 平成27年8月2日（日） 13:30～16:00

場所 熊本県庁本館地下大会議室（熊本県熊本市中央区水前寺1丁目18番1号）

主催 熊本県〔共催：（公財）熊本市水道サービス公社〕

人数 約230人

内容 熊本県では、地下水をはじめとする熊本の豊かな水の恵みを将来にわたって守り抜くために私たちに何ができるか、参加者と共に考えるための式典を開催しました。全日本中学生水の作文コンクールの熊本県表彰、優秀者による朗読や、熊本の風景を長年にわたって撮影されている写真家の江崎幹秀氏による記念講演を実施しました。エントランスコーナーでは作文コンクール優秀作品や環境団体による啓発パネルの展示のほか、熊本の水と世界の水との飲み比べイベントを開催しました。

「水の国くまもと」HP : <http://mizukuni.pref.kumamoto.jp/>



全日本中学生水の作文コンクール受賞者



記念講演の様子

【神奈川県横浜市】水循環ってなあに？楽しく学べる 8月3日「水の週間イベント」

日時 平成27年8月3日（月） 11：00～15：00

場所 桜木町駅前広場イベントスペース（JR京浜東北線・根岸線 桜木町駅前）

主催 横浜市（環境創造局、道路局、水道局）

人数 約2,800人

内容 8月3日の水の週間に、水循環に関連する事業を行っている道路局、環境創造局、水道局の3局合同で「水の週間イベント」を開催しました。イベントでは、水循環を身近に感じてもらえるよう川の生き物を見ることができる移動水族館や保水性舗装の模型、水防災情報の体験コーナー、水源かん養林や下水処理の仕組みなどの展示を行いました。

本物のアユを観察しながらのうちのぬり絵や、水辺愛護会の方々にご協力をいただきながら帷子川のアユなどの魚類紹介や、輪投げ体験、水辺の植物クイズなど、参加型の催事を開催し、夏休みのこどもたちも楽しく参加してくれました。

また、水道局が中心となり、JICA関係者（アフリカ）も参加して、打ち水大作戦を実施しました。



舗装の実験ブース



水打ち水大作戦2015@よこはま

【鹿児島県霧島市】第3回 水の週間イベント ～水について考える夏～

日時 平成27年8月4日（火）10：00～15：00

場所 霧島市役所（国分シビックセンター内）（鹿児島県霧島市国分中央三丁目45番1号）

主催 霧島市水道部

人数 来場者約400人（アンケート協力者329人）

内容 「飲み水」としての水道水にもっと関心を持ってもらうためにイベントを開催しました。100%湧水・地下水が水源である霧島市の水道水と、市販されているミネラルウォーターを飲み比べて水道水のおいしさを実感してもらう利き水コーナーや、飲み水についてのアンケートコーナー、県薬剤師会のご協力による水質検査の実演や管工事業協同組合による簡単な修繕の実演、水資源環境保全のためのチラシ配布などを行いました。



利き水コーナー



水質検査の実演

## 広報の取り組み

健全な水循環の重要性、水資源の有限性や水の貴重さについての理解と関心を深めるために積極的な広報を行いました。

### ○「水の日」ポスターの掲出

期間 平成27年7月1日（水）～

場所 関係府省庁、都道府県、市町村、中学校、東京メトロ（8駅）等で掲出

内容 国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深めるために、「水の日」ポスターを作成、掲出し、「水の日」について周知しました。



水の日ポスター



群馬県庁



東京メトロ 霞ヶ関駅

### ○メディアキャラバンの実施

ミス日本「水の天使」の柴田美奈さんと「水の日（8月1日）」関連行事のPRを行うためメディアキャラバンを行い、主要な新聞はじめ、スポーツ新聞、専門業界紙、ウェブサイト（ニュースサイト）、SNS（LINE NEWS）等多くの媒体に取り上げられました。

#### 掲載媒体一覧

##### 【新聞】

7月23日 読売新聞（都内版）、スポーツニッポン、東京スポーツ

7月30日 サンケイスポーツ

8月3日、日本水道新聞、水道産業新聞、愛媛新聞、月刊「ダム日本」

【WEB】

- 7月23日 スポーツニッポン、毎日新聞WEB、BIGLOBE、東京スポーツWEB、yahoo! ニュース、livedoor NEWS、日刊スポーツ、So-net、朝日新聞Digital、LINE NEWS  
 8月 1日 建設通信新聞ブログ



取材風景

○その他メディアでの紹介

雑誌「安全と健康（中央労働災害防止協会刊）」  
 8月号のP10～P11において、「水の日」が紹介されました（左記画像参照）。さらに、以下のテレビ番組等においても、出演した気象キャスターより「水の日」「水の週間」についての紹介がありました。



雑誌「安全と健康」8月号 P10～P11  
 中央労働災害防止協会

	キャスター	日時	放送局名	番組名
①	藤森 涼子	H27. 7. 30	CS日テレ	日テレニュース24「デイリープラネット」
②	藤富 郷	H27. 7. 31	日本テレビ	スッキリ
③	池津 勝教	H27. 7. 31	NHK金沢	かがのとイブニング
④	川崎 亜有子	H27. 7. 29	むさしのFM	デイリーボイス

第39回「水の週間」（平成27年度）都道府県行事一覧

項目 都道府県名	ポスター	パンフレット	映画会・音楽会・研修会・シンポジウム等講演	上下流交流 施設見学会等	アンケート 街頭キャンペーン	展示会等	水の作文コンクール	広報・PR活動等					
								テレビ	ラジオ	新聞	広報紙	ホームページ	懸垂幕・横断幕 板・立看板 電光掲示
全国	47	4	10	22	10	19	47	5	10	13	12	36	16
北海道	○			☆			◎			☆		○	☆
青森県	○						◎					○	○
岩手県	○						◎					○	
宮城県	○		◎		◎		○					○	
秋田県	○						○						
山形県	○						○				☆		☆
福島県	○	◎	○	☆	☆	○	◎			◎		◎	
茨城県	○			○		○	◎					○	
栃木県	○				○		◎	○	○			○	○
群馬県	○		○	○		○	◎			○	○	○	
埼玉県	○			◎	○		◎				◎	◎	◎
千葉県	○			○		○	◎				○	○	○
東京都	○		○			○	○				○		
神奈川県	○					☆	◎		○	○	○	○	
新潟県	○						◎	○				○	
富山県	○			○			◎			○			○
石川県	○						◎						
福井県	○			◎		◎	○			○		☆	
山梨県	○		○				○	○		○			
長野県	○	◎					○	○					○
岐阜県	○			☆		◎	◎					○	
静岡県	○		○	☆		☆	◎					○	
愛知県	○			☆		◎	◎				◎	◎	
三重県	○						◎					○	
滋賀県	○						◎			○		○	
京都府	○			☆	☆	○	○		☆			◎	
大阪府	○	☆	☆	☆	☆	☆	◎				☆	◎	☆
兵庫県	○						◎						
奈良県	○			◎		◎	◎					○	
和歌山県	○						◎	○	○	○		○	
鳥取県	○		○	◎			○						
島根県	○						◎				☆	○	
岡山県	○						○		○			○	
広島県	○						◎					○	
山口県	○						◎					○	
徳島県	○				○		◎		○			○	○
香川県	○			◎		○	◎		○	○	○	○	
愛媛県	○			☆		◎	◎				◎	◎	☆
高知県	○			☆	◎		◎						
福岡県	○			☆	◎		◎		○			○	○
佐賀県	○			○		○	◎			○		○	
長崎県	○			☆			◎				☆	◎	☆
熊本県	○		○	☆	○	○	◎	○	○	◎		◎	○
大分県	○						◎						○
宮崎県	○						◎		○	○		○	○
鹿児島県	○		◎				◎					○	
沖縄県	○	◎				○	◎					○	

注)「ポスター」欄の○は、全国共通版(国土交通省作成)を配布したことを示し、◎は都道府県等で独自に作成したものも配布したことを示す。

「パンフレット」欄の◎は、都道府県等で独自に作成したものを配布したことを示す。

「作文コンクール」欄の◎は、都道府県レベルでの「地方表彰」を行っていることを示す。

それ以外の○は、都道府県が独自に取り組んでいることを示し、◎は都道府県に加え市町村等が独自に取り組んでいることを示す。

☆は市町村等のみが独自に取り組んでいることを示す。

### 第39回水の週間新聞等報道状況

月 日	都道府県	新聞等名	地域	見 出 し
4月7日	福島県	福島民報	地方	「水」考えよう 県中学生作文募集
4月12日	福島県	福島民報、福島民友	地方	福島県からのお知らせ (募集)中学生「水の作文コンクール」作品募集
4月13日	福島県	福島民友	地方	中学生対象に水の作文
6月14日	福島県	福島民報	地方	北信3年の遠藤亮佑君ら 4人優秀賞、全国審査へ 中学生水の作文
6月14日	福島県	福島民友	地方	優秀賞に遠藤君(北信)ら 県中学生水の作文 全国出品へ
6月19日	熊本県	熊本日日新聞	地方	中学生水の作文コンクール 県大賞5人決まる
6月26日	北海道	北海道新聞	地方	岩見沢・菊地君、平野さん 美唄・山田さん 水の作文 最高賞独占 中学生道コンクール 入選にも3点
7月1日	北海道	プレス空知	地方	全道水の作文コンクール 岩見沢、美唄勢独占 最高賞の優秀賞3人 菊地くん、平野さん、山田さん
7月10日	岩手県	盛岡タイムス	地方	生命の源に文才 水の作文コンクール表彰飯岡中(盛岡市)の入賞者へ
7月10日	岩手県	岩手日日	地方	限りある資源大切に【水の作文県コンクール】附属中生2人が入賞
7月15日	岩手県	宮古民友	地方	「水の作文」前川さん最高賞
7月16日	香川県	RNCラジオ	地方	「節水チャレンジ」について
7月17日	岩手県	岩手日日	地方	吉田桜さん(1年)が優秀賞 水の作文コン 花巻北中に学校賞
7月26日	鳥取県	日本海新聞	地方	鳥取で名水ツーリズム。全身で涼！
7月27日	山形県	山形新聞	地方	浴衣姿でマチに涼
7月29日	埼玉県	埼玉新聞	地方	打ち水で涼を／本庄で大作戦 市民60人参加
7月30日	福島県	福島民報	地方	県内3人優秀賞 全日本中学生水の作文
7月30日	福島県	福島民報	地方	須賀川に清流を取り戻す市民の会 国交省水資源功績者に
7月30日	福島県	福島民友	地方	本県、3人優秀賞 柳沼君(鏡石)遠藤君(北信)鈴木君(福島大附) 中学生水の作文
7月30日	福島県	福島民友	地方	水資源功績者表彰を受賞 須賀川に清流を取り戻す市民の会
7月30日	群馬県	上毛新聞	地方	水の大切さ理解深めて
7月30日	滋賀県	京都新聞	地方	滋賀県中学生 水の作文コンクール
7月30日	奈良県	奈良新聞	地方	打ち水大作戦 参加団体募集 奈良市、明日締め切り
7月31日	愛知県	東愛知新聞	地方	モリコロパークで農業用水展
7月31日	愛知県	建設通信新聞	地方	15年度水資源功績者表彰受賞者
7月31日	香川県	毎日新聞	全国	「水の日」(8月1日)及び「水の週間」(8月1日～7日)について
8月1日	栃木県	下野新聞	地方	県内9地域の水600本配布
8月1日	栃木県	栃木放送	地方	水の日、水の週間について
8月1日	群馬県	上毛新聞	地方	水の大切さ知って
8月1日	富山県	北日本新聞	地方	きょう8月1日は「水の日」
8月1日	福井県	福井新聞	地方	今日は「水の日」水を大切に
8月1日	愛知県	中日新聞	地方	尾張と豊川の団体 水資源功績者受賞
8月1日	奈良県	奈良新聞	地方	水の日特集
8月2日	愛知県	東愛知新聞	地方	豊川総合用水土地改良区 水資源功績団体で表彰
8月2日	島根県	山陰ケーブルビジョン	松江	「まるまる松江」コーナーで放送
8月2日	徳島県	徳島新聞	地方	打ち水でひんやり猛暑日の県内
8月2日	徳島県	読売新聞	地方	県内猛暑日冷やして～
8月3日	群馬県	上毛新聞	地方	水の大切さパネルで紹介
8月3日	東京都	日刊建設工業新聞	全国	8月1日は「水の日」
8月4日	埼玉県	埼玉新聞	地方	熊谷で打ち水大作戦
8月4日	神奈川県	建通新聞	全国	Where アーユー from? We are from 帷子川



月 日	都道府県	新聞等名	地域	見 出 し
8月4日	福井県	日刊県民福井	地方	水の処理場を探検
8月4日	愛知県	中日新聞	地方	豊橋・南部中の仲川さん最優秀
8月4日	滋賀県	中日新聞	地方	宇野さん最優秀賞 水の作文 県庁で表彰受ける
8月4日	兵庫県	神戸新聞	地方	水の作文コンクール 氏原さんが最優秀賞に
8月4日	島根県	山陰中央新報	山陰	「水の日」に断水体験 住民ら運ぶ大変さ実感
8月4日	佐賀県	佐賀新聞	地方	打ち水の力 涼しさを実感(平成打ち水夏の陣2015 H27.8.2開催)
8月4日	熊本県	熊本日日新聞	地方	化血研 水資源に功績 国交省表彰 植樹や水田湛水
8月4日	沖縄県	八重山毎日新聞	地方	田淵さん(石中)が県優秀賞 水の作文コンクール
8月4日	沖縄県	宮古新報	地方	大濱愛里さん優秀賞 全日本中学生水の作文コン
8月5日	鹿児島県	鹿児島建設新聞	地方	水道の大切さを啓発(霧島市・市管工事協組がイベント)
8月5日	沖縄県	宮古毎日新聞	地方	大濱さん(北中3年)優秀賞 中学生水の作文コン表彰式
8月6日	富山県	北日本新聞	地方	打ち水で涼しく
8月6日	長野県	読売新聞	地方	石畳にひとときの涼
8月6日	長野県	産経新聞	地方	涼しさ おもてなし 善光寺 浴衣で打ち水イベント
8月6日	愛知県	東愛知新聞	地方	水を大切に海をきれいに
8月6日	島根県	水道産業新聞	全国	水の大切さ再認識へ断水体験 モニター32世帯が2時間半
8月7日	福島県	福島民報	地方	全日本中学生水の作文県コンクール 優秀賞の遠藤君(北信)ら表彰
8月7日	福島県	福島民友	地方	遠藤君らを表彰 中学生水の作文
8月7日	富山県	北日本新聞	地方	水の作文入賞者を表彰
8月7日	富山県	富山新聞	地方	水の作文で表彰
8月9日	和歌山県	わかやま新報	地方	優秀賞の3人を表彰 中学生水の作文県審査
8月9日	愛媛県	愛媛新聞	地方	水は大切 経験つづる 天野さん(松山椿中)作文最優秀賞 94年渇水時の生活に衝撃
8月10日	佐賀県	佐賀新聞	地方	国交省水資源功績者「かいろう基山」受賞
8月11日	静岡県	静岡新聞	地方	水の週間記念作文コンクール 鈴木さん、飯田君知事賞
8月12日	愛媛県	愛媛新聞	地方	緑のダム 役割学ぶ 松山石手川 児童ら散策や実験
8月15日	山梨県	山梨日日新聞	地方	多摩川源流研と古屋さんを表彰 水資源功績者に国交省
8月17日	栃木県	栃木テレビ	地方	水の作文「農林水産大臣賞」受賞生徒の知事への表敬訪問
8月17日	栃木県	栃木放送	地方	水の作文「農林水産大臣賞」受賞生徒の知事への表敬訪問
8月18日	愛媛県	産経新聞	地方	水の大切さ考えて 松山市役所で絵はがき展示
8月20日	神奈川県	水道産業新聞	全国	3局合同で水循環をPR 横浜市
8月21日	福島県	福島民報	地方	鈴木君(福大付属中)一日所長 摺上川ダム 水の大切さ学ぶ
8月23日	福島県	福島民友	地方	鈴木君(福大附中)が一日所長 作文大臣賞で 摺上川ダム管理所
8月23日	栃木県	栃木テレビ	地方	水の作文コンクール県表彰式
8月25日	愛媛県	愛媛新聞	地方	水の作文コンクール最優秀 天野さん(椿中)一日所長 松山河川事務所 泉など巡視
8月25日	佐賀県	西日本新聞	地方	「かいろう基山」に国交大臣表彰
8月26日	神奈川県	下水道新聞	全国	水週間で3局合同イベント 横浜市
8月28日	徳島県	徳島新聞	地方	水の作文コンクール 3中学生が全国2席
8月31日	滋賀県	朝日新聞	地方	県中学生水の作文コンクール3年連続入選

## 「水の週間」実施経過

メインスローガン「水ーこの限りある貴重な資源」「水は限りある貴重な資源です」

(国土庁発足 S49. 6. 26)

(国土交通省に再編 H13. 1. 6)

(水循環政策本部発足 H26. 7. 1)

年・回	サブスローガン	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備考
昭和 52 (1)	貴重な水・あなたと一緒に考えたい	水の用心	○水の週間展示会(国土庁会議室) (ポスター、パンフレット) ○第1回水資源に関するシンポジウム (10. 25)	・水の週間閣議了解(5. 31) ・国連水会議(3. 14 ~ 25) ・第三次全国総合開発計画閣議決定
昭和 53 (2)	水の価値をみなおそう 水源地域の人々に感謝しよう 水とのふれあいのなかで……	水も難局だな	○ウォーターフェア'78 (銀座 松屋)	・水の週間実行委員会設立 (5. 8、11 団体) ・長期水需給計画策定 ・福岡渇水
昭和 54 (3)	水源地域の人々に感謝しよう 水の大循環の中で私たちは… 限りある水ーいまこそいかに私 たちの智慧ー	育てよう水 ー足どり確かに、 一歩一歩。ー	○ウォーターフェア'79 (船の科学館) ○第1回全日本中学生水の作文コンク ール ○水資源功績者表彰 ○ウォーターフェアふくおか(福岡市)	・水資源世論調査
昭和 55 (4)	節水型社会をめざして 上下流の連帯を育てよう	貯めましょう日本の水 ーみんなの水を、みんなの水 で。ー	○ウォーターフェア'80 東京 (科学技術館) ○上下流交流運動	・地域水需給計画推進 ・沖縄渇水
昭和 56 (5)	水源地の人たちに感謝しましよ ういのちの水・水とののであい。	今日の水・明日の水 ー水みんなの和で 育てよう。ー	○ウォーターフェア'81 東京 (科学技術館) ○第1回ウォーターフェア隅田川 レガッタ ○ウォーターフェアポートピア (兵庫県)	・水研究協力校の指定
昭和 57 (6)		丈夫な水に育てたい。	○ウォーターフェア'82 東京 (科学技術館) ○第2回水資源に関するシンポジウム (8. 3 ~ 5)	・長崎水害
昭和 58 (7)		やさしい、水、好き。	○ウォーターフェア'83 東京 (科学技術館)	・これより毎年、水資源白書作成
昭和 59 (8)		水の愛につつまれて	○ウォーターフェア'84 東京 (科学技術館)	・水資源局から水資源部へ改組 (国土庁) ・国際河川博覧会(アメリカ・ニュー オリンズ)
昭和 60 (9)	考えよう水ーくらしと水・資源とし て水ー	水・ありがとう。	○ウォーターフェア'85 東京 (科学技術館) ○ウォーターフェア KOBE (神戸市)	・冬期渇水
昭和 61 (10)	築こう 水のある豊かな暮らし	いつも水といっしょ。	○ウォーターフェア'86 東京 (科学技術館) ○ウォーターランド(新宿副都心) ○第1回水とのふれあいフォトコンテ スト ○ダム子供マラソン(宮ヶ瀬ダム)	・水資源世論調査 ・冬期渇水(西日本)
昭和 62 (11)	水のある豊かな暮らし	水は、ともだち。	○ウォーターフェア'87 東京 (科学技術館) ○第3回水資源に関するシンポジウム (浩宮殿下による特別講演) (8. 4 ~ 5)	・首都圏渇水 ・第四次全国総合開発計画閣議決定 ・全国総合水資源計画(ウォーターブ ラン2000)策定
昭和 63 (12)	水のある豊かな暮らし	ぼくの水、みんなの水。	○ウォーターフェア'88 東京 (科学技術館) ○水の日記念テレビトーク	・浩宮殿下展示会御台臨 ・竹下内閣総理大臣記念式典臨席
平成元 (13)	水のある豊かな暮らし	水、今日もありがとう。	○ウォーターフェア'89 東京 (科学技術館)	・皇太子殿下展示会行啓 ・宇野内閣総理大臣記念式典臨席
平成2 (14)	水のある豊かな暮らし	水がささえる豊かな社会	○ウォーターフェア'90 東京 (科学技術館)	・人と水とのかわり世論調査 ・首都圏渇水

年・回	サブスローガン	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備考
平成3 (15)	水が支える豊かな暮らし	水…みんなの宝	○ウォーターフェア’91 東京 (東京都庁)	・皇太子殿下記念式典、展示会行啓
平成4 (16)	水が支える豊かな暮らし	考えよう、水のあした	○ウォーターフェア’92 東京 (東京都庁) ○第4回水資源に関するシンポジウム (10.24)	・環境と開発に関する国連会議
平成5 (17)	水が支える豊かな暮らし	水がなくては生きられないから ね	○ウォーターフェア’93 東京 (墨田区役所)	・「国連水の日」制定(3.22)
平成6 (18)	水が支える豊かな暮らし	すばらしい自然の恵み 「水」を見直そう	○ウォーターフェア’94 東京 (墨田区役所)	・村山内閣総理大臣記念式典臨席 ・全国的な渇水 ・人と水とのかかわり世論調査
平成7 (19)		大切に使おう、かけがえない 「水」	○ウォーターフェア’95 東京 (墨田区役所)	
平成8 (20)		天の恵み「水」。ありがとう。 「水」を見つめて、20年。	○ウォーターフェア’96 東京 (科学技術館)	・皇太子ご夫妻記念式典、展示会行啓 ・橋本内閣総理大臣記念式典臨席
平成9 (21)		夏、到来。	○ウォーターフェア’97 東京 (科学技術館) ○第5回水資源に関するシンポジウム (8.4～5)	
平成10 (22)		みんなで考えよう、 水の大切さ…。	○ウォーターフェア’98 東京 (科学技術館)	
平成11 (23)		「当たり前」ではありません！	○ウォーターフェア’99 東京 (科学技術館) ○水源地域からのメッセージ	・新しい全国総合水資源計画(ウォータープラン21)策定 ・小淵内閣総理大臣記念式典臨席、展示会視察
平成12 (24)		水の力	○ウォーターフェア2000 東京 (江戸東京博物館)	
平成13 (25)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア’01 東京 (東京都庁)	・国土交通省発足(1.6) ・全国的な渇水
平成14 (26)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア’02 東京 (新宿パークタワー) ○第6回水資源に関するシンポジウム (8.2～3)	・皇太子殿下記念式典、展示会行啓
平成15 (27)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア’03 東京 (科学技術館)	・長い梅雨、冷夏
平成16 (28)		みんな水から始まった	○ウォーターフェア’04 東京 (科学技術館)	・東京の真夏日の連続記録更新 ・局所的な豪雨
平成17 (29)		みんな水から始まった	○ウォーターフェア’05 東京 (科学技術館)	・全国的な渇水 ・局所的な豪雨
平成18 (30)		水のある幸せ、これからも	○ウォーターフェア’06 東京 (科学技術館)	・皇太子殿下 水の展示会行啓 ・17年末に全国で大雪、降水量首都圏は 平年並み
平成19 (31)		水がある、いのちがある。	○ウォーターフェア’07 東京 (科学技術館) ○第7回水資源に関するシンポジウム (8.3～4)	・春から6月にかけて西日本を中心に少 雨続く、梅雨入りに遅れ、一部で渇 水、夏に記録的高温
平成20 (32)		水ははぐくむ和の暮らし	○ウォーターフェア’08 東京 ○水を考えるつどい(科学技術館)	・中国、四国地方を中心とした渇水 ・局所的な豪雨
平成21 (33)		将来を安全・安心に暮らすた め、水を大切に使う社会へ	○ウォーターフェア’09 東京 ○水を考えるつどい(科学技術館)	・中国、九州北部を中心とした記録的 な豪雨
平成22 (34)		水の安心・安全を考えよう！	○ウォーターフェア’10 東京 ○水の週間記念シンポジウム (科学技術館)	・局所的な豪雨 ・全国で記録的な猛暑
平成23 (35)		水の恵み～東日本大震災を機 に考える～	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○「水の週間」水を考えるつどい (科学技術館)	・皇太子殿下水を考えるつどい行啓 ・平成23年7月新潟・福島豪雨 ・全国で節電の夏
平成24 (36)		水の恵みを未来に～健全な水循 環の再生を目指して～	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○水の週間シンポジウム (科学技術館)	・平成24年7月九州北部豪雨 ・利根川水系渇水 ・全国で節電
平成25 (37)		安全・安心な水のために	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○水の週間シンポジウム(発明会館)	・全国的な渇水 ・全国で記録的な猛暑、局所的な豪雨

年・回	サブスローガン	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備 考
平成 26 (38)		水とめぐる水のめぐみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「水の日」・「水の週間」記念水を考えるつどい（砂防会館）</li> <li>○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水循環基本法施行及び水循環政策本部設立</li> <li>・水循環基本法における「水の日」の法定化</li> <li>・平成 26 年 8 月豪雨（広島、京都など）</li> <li>・御嶽山噴火</li> </ul>
平成 27 (38)		みんなで考えよう！水のこ と！	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「水の日」「水の週間」記念水を考えるつどい（国連大学）</li> <li>○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水循環基本計画閣議決定</li> <li>・平成 27 年 9 月東北・関東豪雨</li> </ul>

※ 全日本中学生水の作文コンクール及び水とのふれあいフォトコンテストは、現在も継続中。

## 水の週間実行委員会について

昭和 53 年に、水に関係の深い民間団体により、「水の週間実行委員会」が設立され、「水の日」「水の週間」の趣旨に賛同し、この運動をさらに広汎な国民運動として推進することとして、政府・地方公共団体等が行う各種の啓発活動と連携して諸活動を実施している。

### 水の週間実行委員会設立趣意書

(昭和 53 年 5 月 8 日設立総会)

かつて、ケネディは「21 世紀を制するものは原子力と水だ」と断言し、水問題の重要性を訴えたが、まことに水は国の産業経済の発展のみならず人類の生存に必須なものであり、水問題の解決なくしては将来の発展は考えられないとあってよいであろう。

古来、我が国は、豊葦原瑞穂の国といわれ豊かな水に恵まれ“水の恩恵”を享受してきており、「水は天からもらい水」「湯水のように使う」などの言葉に示されるように水はいつでも好きなだけ使える無尽蔵な資源と考えられがちであった。

しかし、近年における生活水準の向上、産業経済の発展に伴い特に人口・産業の集中が著しい関東・近畿等の都市における生活用水、工業用水等の水需要が急激に増大し、渇水時における水不足や水質汚濁、地盤沈下等の問題を生じるどころとなり、ようやく「水」が限りある資源として認識されはじめたところであるが、まだ十分とはいえない。

このため、政府は、昭和 52 年に 8 月 1 日を「水の日」とし、この日から 1 週間を「水の週間」と定め水に関する国民の理解と認識を深めることとして、水に関する各種の啓発運動を実施したところであるが、誠に時宜を得た意義深いものであり、今後とも積極的な展開が望まれるところである。

とりわけ、開発適地の減少等からダム等による水資源開発が次第に困難となり近い将来における水需要のひっ迫が避けられず、今後は水利用の合理化等の施策の推進が必要となっている今日の状況に鑑みるならば、「水の週間」における啓発運動をさらに積極的に推進し、国民一人一人が水資源開発の重要性を十分認識し、水の有限性・貴重さを理解し節水等の具体的な行動に留意するような効果的な運動として盛り上げる必要がある。

このような考えのもとに、政府による「水の週間」の各種の啓発運動と一体となった諸行事を積極的に実施し、もって水資源問題解決の一助に資するものとして、「水」に深いかわりをもつ事業団体等によっての水の週間実行委員会を設立するものである。



## 水の週間実行委員会の組織

会長 虫明功臣（日本河川協会会長）

平成27年 8月 1日現在

団 体 名	実 行 委 員		運 営 委 員	
全国水土里ネット	専務理事	中條康朗	所 長	鹿嶋弘律
造水促進センター	理事長	山本和夫	専務理事	平井光芳
日本治山治水協会	会 長	山口俊一	専務理事	山田壽夫
日本河川協会	会 長	虫明功臣	常務理事	萩原寿夫
日本工業用水協会	会 長	吉田雅一	事務局長	芳田丈夫
日本水道協会	理事長	尾崎 勝	調査部長	玉野井晃
全国簡易水道協議会	会 長	牧田 久	事務局長	若松五常
日本下水道協会	理事長	曾小川久貴	常務理事	田雑重信
日本ダム協会	会 長	宮本洋一	専務理事	川崎正彦
利根川・荒川水源地域対策基金	理事長	藤井友竝	事務局長	石引庄一
	常務理事	渡邊和足		
日本水フォーラム	代表理事	竹村公太郎	代表理事	竹村公太郎
土木学会	会 長	廣瀬典昭	専務理事	塚田幸広
農業農村工学会	会 長	渡邊紹裕	専務理事	小前隆美
水資源機構	理事長	甲村謙友	総務部長	赤松忠幸
	理 事	◎西川 智		

団 体 名	実行委員	運 営 委 員	
国土交通省（水資源部）	—	大臣官房審議官 水資源政策課長 水資源計画課長 企画専門官 専門調査官	○山本景一 荒井仁志 須見徹太郎 金籠史彦 中島敬太郎
東京都（都市整備局）	—	都技監兼局長 都市づくり政策部長 都市づくり政策部 水資源・建設副産物担当課長	安井順一 上野雄一 小口新吾

◎運営委員長 ○運営副委員長

## 第39回「水の週間」ポスター

水とめぐる  
水のめぐみ

第39回  
8/1は水の日  
8/1~7は水の週間

健全な水循環により、水の恵みを楽しむ社会を目指して。

主催：水循環政策本部、国土交通省、都道府県、水の週間実行委員会

[水の日の週間](#)

「水の日の週間」に関する行事等の情報は、官報ホームページ、国土交通省ホームページおよび独立行政法人水資源機構ホームページをご覧ください。水資源機構ホームページ：www.water.go.jp

### 水の週間実行委員会事務局

〒330-6008 埼玉県さいたま市中央区新都心 11-2

独立行政法人水資源機構 総務部広報課内

TEL 048-600-6513 FAX 048-600-6510